

一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和4年10月5日
発行者：袋井市企画政策課

幸浦の丘 香水プロジェクト ～幸浦の名前と由来を後世に伝えたい～



「幸浦地区まちづくり協議会」と地元の香料・食品素材メーカー「高砂フードプロダクツ(株)」が協働で香水「オードトワレ幸浦」を作成

この取組は、高砂フードが地域貢献活動の一環で実施した香水づくりプロジェクト。浅羽南地区の古称である『幸浦』の名称やその由来をより多くの方に知ってもらいたい浅羽南地区の住民組織「幸浦地域まちづくり協議会」が連携・協力し、香水の名称のほか、幸浦の由来をまとめた説明書を添えることができたことが大きな特徴。まちづくり協議会の小杉会長は「地域の誇りとしてPRしていきたい」と語った。



「香水」完成報告会&寄贈 2022.9.28 @市長応接室

幸浦の由来：慶応3(1867)年、15代将軍徳川慶喜が朝廷に政権を返還しました。家臣達の一部は生活を支えるため、明治3(1870)年、湊村(現在の静岡県袋井市湊)に集団移住し製塩事業を始めます。出発の日、静岡藩庁大参事(現在の静岡県知事)大久保一翁は、「武士の競う…」の歌をはなむげに贈りました。

明治22(1889)年、浅羽海岸地帯の4村が合併し、その村名には歌に詠まれた「幸の浦」が採用され、幸浦村が誕生しました。昭和30(1955)年、広域合併により浅羽村となり幸浦村の名前は消えましたが、地域住民は愛着を込めて、「幸浦」の名前と由来を後世に伝えています。

(記)

幸浦の名を残すと共にその発展を祈念し、この香水を『幸浦』と命名する。

袋井幸浦の丘プロジェクト
幸浦地域まちづくり協議会
高砂フードプロダクツ株式会社
高砂香料工業株式会社